第15講　開国と江戸幕府の滅亡
PART3 江戸幕府の滅亡

Chapter 1　尊王攘夷運動の展開と挫折

目標
尊王攘夷論とは何だろう？
イギリスが薩摩藩・長州藩に興味を持った経緯を知ろう。

高杉晋作

1　尊王攘夷運動の激化（1862～63年）

尊王攘夷論は，天皇崇拝思想（尊王論）と外国人排斥思想（攘夷論）が，
井伊直弼の違勅調印を契機に反幕府運動として結びついたもの。

①**長州藩**尊攘派の京都制圧（1862 年）
藩主毛利敬親は，藩士長井雅楽の「航海遠略策」で開国･公武合体の立場をとっていたが，
高杉晋作・久坂玄瑞・桂小五郎〔木戸孝允〕らの尊攘派が台頭し，藩論を転換した。
※島津久光（薩摩藩主の父）が文久の改革のため江戸に下る間に，
尊攘派公家〔1　　　　　　　　〕や土佐藩の武市瑞山〔半平太〕と結び，
公武合体派を抑え朝廷を動かした。
※公武合体派（薩摩藩主導）の勅使大原重徳に続き，
尊攘派（長州藩主導）の勅使として三条実美が江戸に下り，幕府に攘夷の決行を迫る。

②14 代将軍家茂の上洛　（1863 年３月）
３代将軍家光以来の将軍上洛（護衛を名目に江戸から浪士組が先発して上洛)。
不本意にも５月 10 日の攘夷決行を孝明天皇に確約。

③**長州藩外国船砲撃事件〔下関事件〕**（**1863 年**５月 10 日以降）
関門海峡で米・仏・蘭船に対し単独で攘夷を決行。米・仏は即座に艦隊を派遣して報復。
※藩兵の軍事力の低さに失望した**高杉晋作**は，
正規の藩兵とは異なる志願制の〔2　　　　　　〕など庶民を加えた諸隊の組織を決意。

2　攘夷運動の挫折

A　〔3　　　　　　　　〕（**1863 年**７月）
前年の**生麦事件の報復**のため，イギリス艦隊が鹿児島湾に侵入して交戦。

双方ともに被害を受け講和。薩摩藩は軍備近代化の必要性と攘夷の不可能を悟る。

※イギリスも薩摩藩の実力を評価，両者接近の契機となる。

B 〔4　　　　　　　　　　　　　　　　〕（**1863年**8月）

天皇＋公武合体派（公武合体派公家と結ぶ幕府・薩摩藩・会津藩）の巻き返し。

※過激な攘夷は天皇の本意ではないことを強調し，長州藩の御所警備を解任。

三条実美・沢宣嘉らの尊攘派公家は長州藩に逃れる（＝七卿落ち）。

C **天誅組の変**　（**1863年**8月）

尊攘派公家の中山忠光・**吉村寅太郎**（土佐浪士）らが大和国五条の代官所を襲撃。

D **生野の変**　（**1863年**10月）

尊攘派公家の沢宣嘉・**平野国臣**（福岡浪士）らが但馬国生野の代官所を襲撃。

E **天狗党の乱**　（1864年5月～）

水戸藩尊攘派の藤田小四郎・武田耕雲斎らが筑波山で挙兵。

F **池田屋事件**　（1864年6月）

巻き返しを図り京都に集合した尊攘派の志士を，京都守護職（会津藩主松平容保）

配下の〔5　　　　　　　　〕（**近藤勇**・土方歳三ら）が襲撃。

G **禁門〔蛤御門〕の変**（**1864年**7月）

池田屋事件を契機に京都に攻め上った長州藩は，御所内外の戦いで

幕府方（＝薩摩藩・会津藩・桑名藩）に敗れたうえ，朝敵の汚名を着せられた。

H **第1次長州征討〔幕長戦争〕**（**1864年**7月，征長総督＝前尾張藩主徳川慶勝）

幕府が禁門の変を理由に長州征討の勅命を受けて出兵。下関戦争の結果，保守派が

復権した長州藩上層部は尊攘派を弾圧，戦わずして幕府に恭順の態度をとった。

※翌年土佐藩でも尊攘派の武市瑞山らを弾圧，攘夷運動は完全に挫折した。

I **四国艦隊下関砲撃事件〔下関戦争・馬関戦争〕**（**1864年**9月）

前年5月10日の報復として，**イギリス公使オールコック**が主導する

英・米・仏・蘭の四国連合艦隊が下関を砲撃。

※惨敗した長州藩もついに攘夷の不可能を悟り，イギリスとの接近の契機となる。

まとめ

天皇崇拝の尊王論と外国人排斥の攘夷論が合体したのが尊王攘夷論である。

イギリスは薩英戦争・下関戦争の交戦により薩摩・長州藩に興味を持った。

Chapter 2　江戸幕府の滅亡

目標
条約勅許以後のイギリスとフランスの動きを知ろう。
王政復古の大号令で成立した新政府の特徴を知ろう。

1　列強の動き

①列強の動き

A　英・仏の対立
〔1　　　　　　　〕公使**パークス**が，幕府の無力を見抜き**薩摩藩・長州藩に接近**。
天皇を中心とする雄藩連合政権の実現を期待。それに対し〔2　　　　　　　〕
公使**ロッシュ**はあくまでも幕府支持の立場をとり，財政・軍事的援助を続ける。

B　**条約勅許**（1865年）→兵庫開港は未だ認めず
英・米・仏・蘭の四国が兵庫沖に艦隊を派遣し威嚇。これにより攘夷論は消滅した。

C　**改税約書**（1866年）→関税率平均20%の従価税を一律5%の従量税に引き下げ
自由貿易の諸制限も撤廃。高価格品などの輸入が激増し，翌年から輸入超過へ。

2　江戸幕府の滅亡

①倒幕〔討幕〕運動の展開

A　**薩摩藩→**藩論を公武合体から倒幕に転換しイギリスに接近
西郷隆盛・大久保利通らを中心に攘夷思想を放棄。朝廷の公家岩倉具視らと結ぶ。

B　**長州藩→**藩論を幕府への恭順から倒幕に転換しイギリスに接近
1865年，**高杉晋作**が長府で挙兵し主導権を奪回。
桂小五郎〔木戸孝允〕・伊藤博文・井上馨・山県有朋らが台頭。
大村益次郎の指導のもとに軍事力強化に努める。

坂本龍馬

C　**薩長同盟〔連合〕**（**1866年**，京都）
〔3　　　　　　　〕**・中岡慎太郎（土佐藩）**の斡旋で，小松帯刀・
西郷隆盛（薩摩藩）と木戸孝允（長州藩）が密約を締結。倒幕派の主力となる。

D　**第2次長州征討〔幕長戦争〕**（1866年）→薩摩藩は不参加
新式武装の長州藩が幕府軍を撃破し，**14代将軍家茂が大坂城で急死**して中止。
※流通の停滞により米価が高騰し，江戸・大坂で打ちこわしが多発していた。

②江戸幕府の滅亡

A　**15 代将軍徳川慶喜**が就任（1866 年 12 月，京都）

フランス公使ロッシュの意見により，洋風の職制・軍制を整備（＝慶応の改革)。

※横須賀造船所〔横須賀製鉄所〕の建設も進めた。

B　孝明天皇の急死（1866 年 12 月）→年明けに明治天皇が即位

公武合体の立場に徹していた天皇の急死は，幕府にとって大きな痛手となった。

C　「［4　　　　　　　　　　　　］」発生（1867 年 7 月〜）

三河国を発端に京都・大坂や各地の街道沿いで翌年にかけて発生。

1866 年から**世直し一揆**が多発，伊勢神宮への**御蔭参り**も流行し，

社会情勢は騒然としていた。

D　**討幕の密勅**　　　　　　　　　（1867 年 10 月 13 〜 14 日）

公家の**岩倉具視**らが薩長の**武力倒幕派**と結び画策したが，空振りに終わる。

E　［5　　　　　　　］の上表　　　　（**1867 年** 10 月 14 日）

あ　**前土佐藩主山内豊信〔容堂〕**が 15 代将軍慶喜に建白

※坂本龍馬の「船中八策」の影響を受けた**後藤象二郎**が藩論を統一。

い　二条城において慶喜が天皇に政権を奉還

※慶喜の狙いは，武力倒幕派の機先を制し支配体制を再構築することにあった。

F　坂本龍馬・中岡慎太郎暗殺事件　　　　（1867 年 11 月 15 日）

G　［6　　　　　　　　　　　　］（**1867 年** 12 月 9 日）

武力倒幕派が朝廷でクーデタを決行し天皇中心の新政府を樹立，

将軍・摂政・関白を廃止して**三職**（**総裁** 1 名・**議定** 10 名・**参与** 20 名）を設置。

※総裁には有栖川宮熾仁親王が就任。藩士も入れた雄藩連合の形式をとる。

H　**小御所会議**〔三職会議〕　　　　　（**1867 年** 12 月 9 日）

徳川慶喜の辞官納地（内大臣の辞退と領地の一部返上）を決定したが，

公議政体派の山内豊信〔容堂〕（前土佐藩主）・松平慶永（前越前藩主）らは反対。

※年末に徳川慶喜は大坂城へ引き上げ，新政府と軍事的に対立することとなった。

まとめ　イギリスは薩長中心の雄藩連合政権を期待し，フランスは幕府を後援した。
新政府は皇族・公家・藩士を含む雄藩連合で，徳川慶喜が外されていた。

第15講　PART3　確認問題

1　奇兵隊を組織した長州藩士はだれか。

①　高杉晋作　②　大久保利通
③　吉田松陰　④　桂小五郎

2　三条実美らの尊攘派公家が長州藩に逃れた出来事はどれか。

①　禁門の変　②　下関事件
③　生麦事件　④　八月十八日の政変

3　尊攘派公家の沢宣嘉・平野国臣らが但馬国の代官所を襲撃した事件はどれか。

①　天狗党の乱　②　生野の変
③　天誅組の変　④　池田屋事件

4　四国艦隊下関砲撃事件を主導したのはだれか。

①　パークス　②　フルベッキ
③　オールコック　④　ロッシュ

5　幕府の無力を見抜き，薩摩藩・長州藩に接近した公使はだれか。

①　ヒュースケン　②　パークス
③　オールコック　④　ロッシュ

6 坂本龍馬とともに薩長同盟を斡旋した土佐藩の人物はだれか。

① 岩倉具視 ② 後藤象二郎
③ 大村益次郎 ④ 中岡慎太郎

7 大政奉還を 15 代将軍慶喜に建白したのはだれか。

① 山内豊信 ② 松平容保
③ 松平慶永 ④ 島津久光

8 王政復古の大号令で決められた**三職ではないもの**はどれか。

① 総裁 ② 参議
③ 参与 ④ 議定

第 15 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：①

高杉晋作は，**長州藩外国船砲撃事件〔下関事件〕**で藩兵の軍事力の低さに失望し，志願制の奇兵隊を組織した。

2 解答：④

八月十八日の政変は，天皇と公武合体派の巻き返しで，尊攘派公家が長州藩に逃れた事件。

3 解答：②

①の**天狗党の乱**で，水戸藩尊攘派の藤田小四郎らが筑波山で挙兵。③の**天誅組の変で**，尊攘派公家の中山忠光らが大和国五条の代官所を襲撃。④の**池田屋事件**で，京都守護職配下の新選組が尊攘派の志士を襲撃。

4 解答：③

オールコックはイギリス公使で，前年 5 月 10 日の報復として四国艦隊下関砲撃事件〔下関戦争・馬関戦争〕を主導した。

5 解答：②

パークスはイギリス公使で，天皇を中心とする雄藩連合政権の実現を期待した。④の**ロッシュ**はフランス公使で，幕府支持の立場をとった。

6 解答：④

①の岩倉具視は公家，②の**後藤象二郎**は藩論を統一した土佐藩士，③**大村益次郎**は長州藩の人物。

7 解答：①

山内豊信〔容堂〕は前土佐藩主。

8 解答：②

王政復古の大号令により，将軍・摂政・関白を廃止して三職（総裁 1 名・議定 10 名・参与 20 名）が設置された。